

令和4年度政務活動実施成果報告書

会派・議員名 日本維新の会 長田麻美

政務活動の主な内容、成果等

「日本遺産・牛久シャトーの発展のための取り組み」

【目的と場所】

牛久市、牛久シャトー（株）社長との意見交換

【活動内容と成果】

コロナ禍で観光者数が減少していたことを筆頭に、それ以外の現在の状況や問題点、問題解決案や今後の方向性や各種イベント予定など様々な話を伺った。広大な敷地の除草作業の困難さや、日本遺産・文化財として制限のあるイベント立案や、メンテナンス等。歴史的な建築物ゆえの老朽化の現状など具体的な意見聴取であった。また、昨年に日本維新の会（党）から身を切る改革費からとしての200万円の寄付で今後ワイン貯蔵タンクを設置予定であることを確認。今後の取り組みについて、市や県に意見交換・予算質疑等、要望意見を申し上げた。PR活動も継続して行っていく。



「防犯、交通安全対策の取り組み」

【目的と場所】

牛久警察署、署長との意見交換

【活動内容と成果】

住民の皆さまからいただいている警察署管内である多数の案件について、要望、現状、調査、進捗状況について伺った。

牛久市内各所の信号機や横断歩道の設置、ラウンドアバウトの設置について、様々な防犯対策、市内犯罪件数・種類、等々詳細を伺った。要望可能で進めていただける案件と、調査した結果、設置することにより逆に別の事故が増加する可能性がある案件など、丁寧な説明をいただいた。

要望をいただいていた方々に説明をさせていただき、

また、県民の安全を守る取り組みについて非常に勉強になり、啓発を含め今後にかかしていく。

「学びの共同体としての学校づくり」

【目的と場所】

ひたち野リフレ第一会議室 オンライン

【活動内容と成果】

主体的、対話的である学びが新学習指導要領で求めている中、牛久市は先進的に協働・対話を子ども達や地域コミュニティと進めてきた経緯があり、教職員の方々や、教育に携わる地域の方々が参加する、茨城・学びの会「冬季授業づくり、学校づくりセミナー」へ参加した。東京大学名誉教授の講演と現役牛久市内教諭の実践授業を拝聴した。誰一人取り残すことのない教育の観点がもとにあるからこそ、理解が深まった指導者としての新しい教育の仕方を学んだ。

「学びあい」の授業には賛否両論あることは事実であるが、学問だけではなく、コミュニティ能力、思いやりや道徳的な感情を育む大きなものと再認識した。コミュニティスクールの推進に関する一般質問をしたこととともに、さらなる推進をしていく。

「通学路の安全確保」

【目的と場所】

牛久市柏田町、一厚踏切付近

かねてより、市民、保護者、子ども達から要望のある踏切付近の安全確保について

【活動内容と成果】

現地確認と市への要望活動。早朝から通勤の抜け道として自動車交通量の多い場所であり、狭隘の中踏切内線路上で自動車、通学中の児童生徒や自転車が混雑し、危険であること。また、踏切西側に横断歩道がないため児童生徒が渡れない問題があり、多くの保護者やボランティアの方で見守りをしなければならない現状。市はJRとの協議は重ねているが、拡幅には多くの時間と予算がかかる現状であり要望を続けていく。横断歩道に関しては年内中の設置を確認。近隣住民から安堵の声を多くいただいた。

「自動二輪車販売店・ユーザーの今後について」

【目的と場所】

各地の販売店、ユーザーの方々と意見交換

【活動内容と成果】

高速料金が軽自動車と同率の件や、排ガス規制、コロナ禍でユーザーが増えたこと等、様々な意見聴取をした。SDGsにも関心のある方が多く、その中でもメンテナンスをすることでリユースの観点からも、古い自動二輪車も継承していきたい等、熱いご意見を多数いただいた。

全ての歩行者、交通車両の交通安全の意識向上も進めるとともに、持続可能な社会を目指す上でのこの件に限定せず様々な嗜好や伝統の継承について勉強になった。

また、2023年4月1日から11月26日の土日祝日のうち事前に申し込みをした日帰りのETC使用ユーザーは低率割引となったが、平日運転する方にはてきようされない点も含め今後を活かしていく所存である。